



© 2019 Why Not Productions Arte France Cinéma

mois de
la critique

映画 / 批評 月 間

vol.03

フランス映画の現在

Nouveaux rendez-vous
du cinéma français



2021.12.18^[土] 12.24^[金]
名古屋シネマテーク

主催：一般社団法人名古屋シネマテーク 共催：一般社団法人コミュニティシネマセンター 企画協力：アンスティチュ・フランセ日本
助成：アンスティチュ・フランセパリ本部 特別協力：カイエ・デュ・シネマ/笹川日仏財団
フィルム提供及び協力：Bart.lab / セテラ・インターナショナル/株式会社アイ・ヴィー・シー/エチュ・フィルム/ラ・バクト/東京国際映画祭/ラ・トラヴェルス/ヴェッター庭園



CAHIERS
CINEMA

JAPAN
COMMUNITY
CINEMA
CENTER

INSTITUT
FRANÇAIS
CINÉMA

<http://jc3.jp/mdlc03/>

フランス映画の現在

Nouveaux rendez-vous
du cinéma français

創刊 70 周年を迎える仏映画雑誌『カイエ・デュ・シネマ』の編集長マルコス・ウザルのセクションにて、「今観るべき」新しいフランス映画、そして知られざる名作として今年 7 月に惜しまれながらこの世を去ったジャン＝フランソワ・ステヴナン監督＝俳優の作品をご紹介します。

<http://jc3.jp/mdlc03/>



© 2019 Why Not Productions Art France Cinema

ルーベ、嘆きの光

Roubaix, une lumière

2019 年 / 120 分 / カラー / デジタル / フランス語

監督: アルノー・デプレシャン

出演: ロシュディ・ゼム、レア・セドウ、サラ・ファレスティエ、アントワヌ・レナルツ

フランス北部の街ルーベ。放火事件を捜査する警察署長のダワードと刑事のルイは老女の遺体を発見、同じ建物に住むクロードとマリーに対する疑いを深めてゆく。名匠デプレシャンが、故郷ルーベの警察署のドキュメンタリーに着想を得て、現地の住民とプロの俳優を共演させて撮った初のフィルム・ノワール。

③

防寒帽

Passé montagne

1978 年 / 110 分 / カラー / デジタル

出演: ジャン＝フランソワ・ステヴナン、ジャック・ヴィルレ、イヴ・モワニユ

田舎に住む物静かな男セルジュは、パリから来たジョルジュと出逢う。車が故障し、友人たちに置いていかれたジョルジュは、修理場で働くセルジュに助けられ、共にジュラの山々を旅することに。やがてふたりの間には不思議な友情が芽生える。

①

男子ダブルス

Double Messieurs

1986 年 / 90 分 / カラー / デジタル / フランス語

出演: ジャン＝フランソワ・ステヴナン、イヴ・アフォンソ、キャロル・ブーゲ

堅実な生活を送るフランソワは、スタントマンをしている昔の友だちレオに再会する。レオは、もうひとりの仲間に会いにいかうとフランソワを誘う。グルノーブルで彼らを迎えたのは旧友の美しい妻エレーヌだった。ふたりはエレーヌを「誘拐」する羽目になり、3人の波瀾に満ちた旅が始まる。

②



現代の映画作家シリーズ:

ジャック・リヴェット 夜警

Jacques Rivette, le veilleur (Cinéma, de notre temps)

1990 年 / 127 分 / カラー & モノクロ / ビデオ / フランス語

監督: クレール・ドゥニ、セルジュ・ダネー

出演: ジャック・リヴェット、セルジュ・ダネー、ビュル・オージェ、ジャン＝フランソワ・ステヴナン

リヴェットがセルジュ・ダネーと共に、かつて撮影したパリのいくつかの場所を訪れる。顔を撮ること、身体を撮ることは、セクシュアリティとは、ヌーヴェルヴァーグとは、孤独であるとは、そして映画とは…。昼から夜へ、移動から静止へ、豊かな言葉が流れていく。

●カイエ・デュ・シネマ 70 周年記念映像 (約 5 分) 特別上映あり

④

思春期 彼女たちの選択

Adolescentes

2019 年 / 135 分 / カラー / デジタル / フランス語

監督: セバスチャン・リフシツ

出演: アナイス、エマ

育った環境も、性格も似ていないアナイスとエマ。13 歳から 18 歳、思春期を生きる少女 2 人の 5 年間を追ったドキュメンタリー。まるでフィクションのように、彼女たちが「登場人物」として立ち上がっていく様に、一瞬たりとも目が離せなくなる。音楽はクレール・ドゥニ作品でもお馴染みのティンダースティックス。2020 年ルイ・デュリュック賞受賞。

⑤



奥様は妊娠中

Enorme

2020 年 / 101 分 / カラー / デジタル / フランス語 R12+

出演: マリナ・フォイス、ジョナタン・コーエン、ジャクリーン・カコク

クレールは世界的に活躍する天才ピアニスト。夫でマネージャーのフレデリックと共に世界中を飛び回っている。子どもは持たないと決めていた二人だが、40 歳を迎えたフレデリックは、父になりたいとの強い思いに駆られ、クレールの避妊薬に細工をしてしまう。

⑥



涙の塩

Le Sel des larmes

2020 年 / 100 分 / モノクロ / デジタル / フランス語

監督: フィリップ・ガレル

出演: ロガン・アンチュオフェルモ、ウラヤ・アマムラ、アンドレ・ウィルム

リュックは、美術工芸大学の試験を受けるためパリを訪れ、偶然出会ったジャミラと恋に落ちる。故郷に戻ったリュックはかつての恋人ジュヌヴィエーヴに再会、ふたりはよりを戻すが、ジャミラもリュックとの再会に胸を焦がしていた。

⑦



言葉と行動 (ラヴ・アフエズ)

Les Choses qu'on dit, les choses qu'on fait

2020 年 / 122 分 / カラー / デジタル / フランス語

出演: カメリア・ジョルダナ、ニールス・シュネデル、エミリー・ドゥケンヌ、ヴァンサン・マーニュ

ふたりの男女が互いの身に起きている愛の物語を語り合う。欲望と愛情の違いとは、既婚の相手に対し一歩踏み出せるか、成就しなかった恋に再挑戦できるか…多様な想いが交差する、軽やかで深淵な愛のタペストリー。東京国際映画祭では英語タイトル『ラブ・アフエズ』で上映

⑧

2021.12.18^[土] 12.24^[金] (8プロ・入替)

	12/18(土)	12/19(日)	12/20(月)	12/21(火)	12/22(水)	12/23(木)	12/24(金)
13:10	①	③	⑤	⑦	①	⑥	⑧
15:35	②	④	⑥	⑧	③	⑤	⑦

【入場料】(当日券のみ・1作品)

一般 1500 円 大学生 1300 円

シニア 1100 円

ご夫婦割引・レディース日は

1名様 1100 円

シネマテーク

地下鉄今池駅・UFJ銀行西180m tel.052-733-3959

<http://cineaste.jp>
名古屋市千種区今池 1-6-13
今池スタービル2F

